

日刊 勤労千葉

84. 5. 23
No. 1647

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六・（公衆）〇四七二二二七二〇七

5.20 三里塚集會より

三里塚5・20全国総決起集會は九八〇〇名の大結集をかちとり、「今秋二期強行実力阻止」を力強く宣言し、敵・公団および脱落派に大打撃を与えました。回を重ねるごとに全国からの結集がどんどん増え、なによりも、昨年「3・8分裂」の試練以降一年有余ますます頑強な決戦勝利の陣形をうちかためてきた反対同盟の前進を見ると、二期決戦の大爆発と勝利はまちがいありません。勝利の確信にもえた敷地内を先頭とする反対同盟の決意を紹介します。

「戸村思想」を堅持し、必ず勝利する 敷地内からの決意

（天神峰） 小川 喜 平氏

どうも本日は、たくさん参加していただきありがとうございます。

私たちは、十八年間志をつらぬき通してやっておりますが、これからも絶対基本路線である「話し合い拒否・一坪の土地も手ばなさない」という闘いの信念においてはこれからも変ることばありません。共に闘って絶対に勝利するまで闘いぬく覚悟でございますので、これからもよろしくお願ひします。

（天神峰） 市 東 東 市氏

今、必要なのは、国家権力に対する怒りと憎悪——この強弱の程度によつて、最終的に三里塚は勝利する。この「戸村思想」を堅持して、最後の最後まで空港廃港にむけて闘っていきたいと思ひます。

周辺の市町村が続々と「二期早期着工にむけての決議」をあげたと報道されていますが、いかに「周辺」の市町村が「二期早期着工」を叫んだとて、われわれが何と云つたつてカギを握っているんですから、われわれは十八年間の闘いの思想——すなわち「農地死守・一切の話し合い拒否」で闘っていく。必ずや勝利はわが同盟と人民にあるものと私は確信します。

固く手を握りあつて、中曽根の「戦後政治の総決算」なるものを、ものみごとに粉碎し、勝利まで闘いぬきましよう。

（天神峰） 加 藤 俊 宣氏

私たち敷地内は、必ず二期工事を阻止して闘いぬいでいきますので、よろしくお願ひします。



敷地内は不動なり！ 勝利はわが手に！ 決意表明にたつ敷地内農家。
（左より、小川嘉吉氏、加藤俊宣氏、加藤清氏、市東東市氏、小川喜平氏、瓜生あい氏。右端2人は司会の秋葉恵美子氏、小川耕平氏）

（天神峰） 加 藤 清氏

私たち反対同盟として、天神峰には五軒がこうやってがんばっているわけだけれども、支援の人たちも、同じように手を結んで、協力して闘っていてももらいたい。二期阻止、最後までがんばる！

（辺 田） 瓜 生 あ い 氏

※瓜生さんは敷地内の木の根に耕作地を持ち闘っている

全国の闘う仲間みなさん、私たち婦人行動隊は、この二期阻止を先頭に闘うことを決意します。そして「成田用水」を絶対に阻止して、三里塚闘争の原則を守り闘いぬいでいきたいと思ひます。全国のみなさんも、反対同盟とともに最後までよろしくおねがひします。

婦人行動隊の決意

三里塚とむすぶ実力闘争の嵐を！



婦人行動隊長・郡 司 と め 氏
（芝山町千代田 小原子）

全国から結集された同志のみなさん、

今日は、雨も降らず日も照らず、本当にすばらしい集會日和です。

昨年「3・8分裂」以来、ただ今、

敷地内のみなさんから力強い決意の表明がなされました。かつて「分裂」の過程で、あの石橋・内田を同盟から除名するということに対して、石井新二氏が「除名なんかすると敵の思うツボだ」と言ったことがあります。しかし敷地内の小川嘉吉さんはその時、「新二君や、思うツボも二ツボあるんだよ俺たちのツボはちがうんだ」と言いきりました。

そのツボを守り通した「第一公園派」は、今日、「5・20強制開港」に抗議

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

（裏につづく）